

## ハチジョウツグミ —あのハチジョウツグミは何畳ツグミ?—



ハチジョウツグミは、普段よく見られるツグミとよく似ていますが羽色が異なる鳥で、米子水鳥公園では冬に時々現れています。昨年の冬は、園内のメダカ池のそばに1羽よく現れて観察しやすかったです。メダカ池の横の園路上に木の実がよく落ちていて、それを食べに来ていたようです。園路に人が歩いてくると、近くの繁みに逃げ込み、人が去ってからしばらくすると、再び園路に降りてきて食べ物探しをすることを繰り返していました。

ハチジョウツグミの特徴は、オレンジ色のお腹と灰色の背中です。ふつうのツグミは、おなか黒いまだら模様で、背中黒いまだらがあるこげ茶色です。ハチジョウツグミの羽色にはかなり個



木の実を食べるハチジョウツグミ

体差があり、色が濃く全身が赤褐色に見える個体から、おなかのオレンジ色が淡く、全体に灰色っぽく見える個体まで様々です。

そこで野鳥ファンは、ハチジョウツグミの赤味の濃さをみて、赤味が薄いと「あれは四畳半くらい」、ちょっと濃いと「これは六畳くらいかな？」などと批評して楽しんでます。なお、名前のハチジョウとは、畳の八畳ではなく、八丈島のツグミ、という意味でつけられたものだそうです。しかし、実際には八丈島に特にたくさんいるというわけではありません。

ハチジョウツグミは、ツグミの群れに混じって行動していることが多いので、もしツグミの群れに出会ったら、おなか赤い個体を探してみてください。特に、おなか赤味が濃い個体は珍しく、出会えたらとてもうれしいです。

この冬、皆さんが会おうハチジョウツグミは、四畳半でしょうか、六畳でしょうか、それとも、八畳でしょうか。

米子水鳥公園主任指導員 きりほら けいすけ 桐原 佳介



ハイタカ

## 1月に見られる生きものたち

鳥類：コハクチョウなどのハクチョウ類、ツクシガモなどのカモ類、ダイサギなどのサギ類、ハイタカなどのタカ類、カワウ、カイツブリ、オオバン、オオジュリンなどの小鳥類 哺乳類：ヌートリアなど

## 1月の催し

### 自然観察会

#### 「初日の出！コハクチョウ観察会」

とき：1月1日(火・祝) 午前7時～8時。暖かい服装でご参加ください。双眼鏡は貸し出します。参加無料。

#### ドングリこま回し大会2019

ドングリでこまを作り、回った時間に応じてオリジナル干支バッジをプレゼントします。とき：1月1日(火・祝)～6日(日)。参加無料。

#### 水鳥公園の生きものカルタで遊ぼう！

とき：1月1日(火・祝)～6日(日)。対象：5人前後のご家族や友人グループにおすすめ。参加無料。

#### 水鳥のデコイ展特別企画「コアジサシ保全のためにデコイを作ろう」

とき：1月5日(土) 午前9時～午後3時。対象：小学4年生以上。先

着15人。要予約。参加費：1体制作につき500円(入館料込み)。

#### 手作り自然教室「水鳥の絵を描く会」

望遠鏡で実際に水鳥を観察して画用紙に描きます。画用紙は提供します。6日(日) 午前9時～正午。対象：小学生以上先着15人(要予約)。持ち物：鉛筆、消しゴム、絵の具セット。参加無料。

#### 水鳥のバードカービング・デコイ公募展

水鳥の木彫り作品(デコイ)のコンクールの全応募作品などを展示します。とき：～1月6日(日)。

#### 「第24回米子水鳥公園絵画コンクール」作品募集

身近な鳥、大好きな鳥、自然の中の鳥など、生き生きと描かれた作品を募集します。募集期間：～1月9日(水)。対象：小学生。応募方法など

くわしくはお問い合わせください。展示期間：19日(土)～3月3日(日)

●会場・集合は特に記載のない場合水鳥公園ネイチャーセンターです。

●米子水鳥公園の催しへの参加には入館料が必要です。手作り自然教室の参加費は、入館料を含めた大人・子ども一律の料金です。

●入館料は、高校生～69歳の方は310円、その他は無料です。

#### ■開館時間

平日：午前8時30分～午後5時30分  
土日祝：午前7時～午後5時30分  
※元日～1月3日は臨時開館します。元日は午前7時～午後5時30分、2日以降は通常開館です。

#### ■休館日

毎週火曜日(元日を除く)